

(問) 市の立場をはつきりさせて  
いただきたい。  
(答)市長 先ほど申し上げた通り  
21年、この辺が実施時期かと考  
ております。

(問) 税額について示していただ  
きたい。  
(答)政策室長 仮に21年度に実施  
する場合、0.3%で試算します  
と約6億円、0.2%で約4億円  
が見込まれる状況でございます。

(問) 答弁では0.3%で約6億  
円と言いましたが、詳しくは0.  
3%で6億8673万1千円、  
0.2%で4億5781万4千  
円、0.1%の場合2億289  
0万7千円、の試算になってい  
るのではないかと。  
(答)政策室長 佐藤議員がおし  
やられた通りでございます。

認定証の交付申請手続きについて

(問) 八潮市では全要介護認定者  
に障害者控除対象者認定申請書  
が郵送されることになったが、  
市の取り組みは。  
(答)市長 全ての要介護者に対す  
る申請書の送付につきましては  
今回の申告に合わせて実施する準  
備を進めております。

駅南開発と住民要望について

(問) 雨水調整池から雨水を排水  
する水路が建設されているが、  
橋が一つしかないのは不便との  
声が寄せられているが。  
(答)都市建設部長 新たに車道橋  
を設けることは難しいと思われ  
るが、都市機構では人や自転車  
の通れる人道橋の可能性につい  
て検討を進めていると聞いてい  
ます。

環境問題と

住民のくらし

小林 昭子

(問) ①小松川工業専用地域に新  
たな産廃企業の参入希望で説明  
会があった。粉じんなど健康被  
害の不安が出されている。その  
後の経過について伺います。  
工業専用地域であっても、住  
宅に隣接環境下にあり、市は地  
域住民の健康を守る上でこれ以  
上産廃事業を増やさないと、  
抜本的な対策を講じるべきでは  
ないかと。  
②農地転用後の資材置き場で近  
隣住環境に悪影響が多発し問題  
となっております。事前協議制度  
等トラブルを未然に防ぐ対応策を。  
(答)市民生活部長 算入企業に対

学校給食と地産地消・食育

して、説明会から出された意見  
として、市としても、施設全体  
に屋根がけができないか強く要  
望しました。事業所は十分に理  
解し、今後環境保全協定を締結  
する予定です。日付については  
決まっています。  
今後の新規事業所参入への対  
応として、事業所に土地が渡ら  
ないようシステムとして入れる  
事が最善の策であります。  
資材置き場の問題に関しては  
市で把握した情報の中でどのよ  
うな事が出来るのか考えていき  
ます。  
(答)都市建設部長 特定の業種の  
立地をさらに制限する方法とし  
て、都市計画法に基づく地区計  
画や建築基準法に基づく協定が  
考えられます。今後動向を踏ま  
え研究してまいります。

(問) 市が最も重視している点は。  
食育基本法の観点でも調理現場  
の意見は重要。今後の検討過程  
に反映を。地産地消では、地場  
野菜の利用率20%から伸ばすた  
めに、教育委員会だけではなく、  
農政課等の連携も。  
(答)教育部長 市が最も重視して  
いる事は安心で安全な給食を供  
給できることです。

新駅建設・

市の今後の事業と

財見通しは

遠藤 義法

地場野菜の推進に農政サイド  
とも連携をとっていきたい。

(問) 市長は新駅建設費用負担に  
ついて「市の財政が厳しいので、  
(市が支出)できる範囲での額  
で交渉している」と述べている。  
市が現在実施している事業と借  
金返済、これから実施しなければ  
ならない駅南の小学校建設な  
どから資金計画をつくらなくて  
「できる範囲」の金額は算定で  
きるわけではない。都市計画税の  
歳入増を当て込んでいるのか。  
(答)市長 市の負担49億円を上  
限額とする提示を受けたところだ  
が、費用負担については、運輸  
機構に対し市が財政的に大きな  
影響がないよう求めており、こ  
れをふまえた負担内容になると  
考えている。

(答)総務部長 平成22年度までの  
後期基本計画内で予定されてい  
る駅南の小学校建設が考えられ  
るが、財源的には公債費の償還  
の減と歳出削減、予定されてい

さわやか市民バスの復活を

(問) 高齢者から市民バスの復活  
を求める声強い。市民バスを  
復活すべきである。  
(答)市長 市の財政と新たなバス  
路線が実施され、市民の交通手  
段がある程度確保されたことか  
ら廃止したもので復活は考えて  
いない。

(答)健康福祉部長 交通弱者対策  
として野田市の豆バスの運行な  
ど、バス運行が市として妥当性  
があるのか今後も調査研究して  
いく。

市の相談活動の拡充を

(問) 多重債務などに苦しむ住民  
からの相談窓口・体制を強化す  
べきではないか。



駅南にある中曽根小